

## 法令試験問題

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

### 【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を関係のある営業所に掲示しなければならない。  
( )
- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、原則として乗車券を所持せずに乗車できない。  
( )
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業を営営するためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければならない。  
( )
- (4) 事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、法令で定められた必要な事項を営業所ごとに記録しなければならない。その法令で定められた必要な事項について、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。
  - ①苦情に対する弁明の内容 ( )
  - ②改善措置 ( )
  - ③管轄運輸支局への連絡状況 ( )
- (5) 事業者は、夜間において長距離の運行を行う事業用自動車の運行の業務に従事する運転者等に対して、当該業務の途中において少なくとも1回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。  
( )

(6) 「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項（国土交通省告示第1089号）」において、公表すべき事項として定められている事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。

- ①事業用自動車の数 ( )
- ②事故の統計 ( )
- ③営業区域 ( )
- ④輸送の安全に関する基本的な方針 ( )

(7) 一般貸切旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。 ( )

(8) 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。 ( )

(9) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、安全や利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。 ( )

(10) 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に利用させてはならないが、事業を貸し渡してもよい。 ( )

(11) 事業者が、その事業計画を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合があります。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。

- ①営業区域の変更 ( )
- ②営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更 ( )
- ③自動車車庫の位置及び収容能力の変更 ( )

(12) 事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない事由がある場合はこの限りではない。 ( )

(13) 事業者は、営業所ごとの配置車両が10両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。 ( )

(14) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。  
( )

(15) 自動車の使用者は、乗車定員11人以上の車両を3両以上保有する自動車の使用の本拠ごとに、整備管理者を選任しなければならない。  
( )

**【選択問題】**

次の文章の( )の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

(1) 旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、同運輸規則第三十八条第一項及び第三項の規定による( )の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、法第九十四条第一項の規定による( )の求め又は同条第四項の規定による( )を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。

ア. 指導監督	イ. 報告	ウ. 巡回	エ. 教育
オ. 乗務	カ. 健康診断	キ. 通達	ク. 立入検査
ケ. 告示	コ. 適性診断	サ. 指導	シ. 命令

(2) 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が( )人以上の死者を生じる事故を引き起こした場合は、24時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

ア. 1    イ. 2    ウ. 5

(3) 道路運送法の目的は道路運送の( )の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって( )を増進することである。

ア. 従事者	イ. 事業者	ウ. 利用者	エ. 円滑な地域交通
オ. 運送事業の収益	カ. 公共の福祉	キ. 顧客の満足	

(4) 旅客自動車運送事業者は、( )の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。

ア. 経営の責任者    イ. 事業の責任者    ウ. 運行の責任者

(5) 旅客自動車運送事業者は、天災その他の理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の（ ）等に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。

ア. 旅客 イ. 乗務員 ウ. 車両

(6) 自動車運送事業の用に供する自動車は（ ）ごとに定期点検整備をしなければならない。

ア. 三ヶ月 イ. 六ヶ月 ウ. 一年

(7) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を（ ）しなければならない。

ア. 常に清潔に保持 イ. 可能な限り清潔に ウ. 運行のたびに清潔に

(8) 「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」において、安全重点施策として「事業者は、安全方針に沿い、かつ、自らの安全に関する具体的な課題解決に向け、組織全体、各部門又は支社等において、輸送の安全の確保に関する（ ）を設定し、目標を達成するため、輸送の安全を確保するために必要な具体的な取組計画を作成する。」こととしている。

ア. 計画 イ. 取組 ウ. 目標

(9) 事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事した場合は、当該自動車の瞬間速度、（ ）及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を三年間保存しなければならない。

ア. 運行回数 イ. 瞬間出力 ウ. 運行距離

(10) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（ ）保存しなければならない。

ア. 一年間 イ. 三年間 ウ. 五年間

(11) 一般貸切自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに（ ）を営業所において公衆に見やすいように掲示するとともに、一部の場合を除き、当該事業者のウェブサイトへの掲載を行うものとする。

ア. 就業規則 イ. 運送約款 ウ. 運行管理規程

(12) 旅客自動車運送事業者は、( )以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けなければならない。

ア. 六十歳    イ. 六十五歳    ウ. 七十歳

**【筆記問題】**

(1) 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を1つ正確に記入しなさい。

答. \_\_\_\_\_

(2) 次の文章の( )の中にあてはまる語句を回答しなさい。

一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は( )とする。

答. \_\_\_\_\_

(3) 次の文章の( )の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、乗務員等が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員等の( )についての規律を定めなければならない。

答. \_\_\_\_\_

## 法令試験問題 模範解答

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

### 【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×22 = 22点

- (1) 事業者は、事業用自動車の到着が著しく遅延した場合は、速やかに原因を調査し、必要と認めるときは、その概要を関係のある営業所に掲示しなければならない。(運輸規則第16条)
 

( ○ )
- (2) 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款を適用する場合において、旅客は、原則として乗車券を所持せずに乗車できない。(標準運送約款第8条第1項)
 

( ○ )
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業を営営するためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければならない。(道路運送法第4条)
 

( ○ )
- (4) 事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、法令で定められた必要な事項を営業所ごとに記録しなければならない。その法令で定められた必要な事項について、正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。(運輸規則第3条)
  - ①苦情に対する弁明の内容 ( ○ )
  - ②改善措置 ( ○ )
  - ③管轄運輸支局への連絡状況 ( × )
- (5) 事業者は、夜間において長距離の運行を行う事業用自動車の運行の業務に従事する運転者等に対して、当該業務の途中において少なくとも1回電話その他の方法により点呼を行わなければならない。(運輸規則第24条)
 

( ○ )

(6) 「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項（国土交通省告示第1089号）」において、公表すべき事項として定められている事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。（国土交通省告示第1089号）

- ①事業用自動車の数 ( ○ )
- ②事故の統計 ( ○ )
- ③営業区域 ( × )
- ④輸送の安全に関する基本的な方針 ( ○ )

(7) 一般貸切旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。（道路運送法38条） ( × )

(8) 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。（道路運送法第27条、運輸規則第21条） ( ○ )

(9) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、安全や利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。（輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインI-1-（3）） ( ○ )

(10) 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に利用させてはならないが、事業を貸し渡してもよい。（道路運送法33条） ( × )

(11) 事業者が、その事業計画を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合があります。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。（道路運送法第15条）

- ①営業区域の変更 ( ○ )
- ②営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更 ( × )
- ③自動車車庫の位置及び収容能力の変更 ( ○ )

(12) 事業者は事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。ただし、天災その他やむを得ない事由がある場合はこの限りではない。（道路運送法第16条） ( ○ )

(13) 事業者は、営業所ごとの配置車両が10両を超えた場合のみ、安全統括管理者を選任しなければならない。（道路運送法第22条の2） ( × )

(14) 一般貸切旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後100日以内に毎事業年度に係る事業報告書を管轄地方運輸局長に提出しなければならない。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)

( ○ )

(15) 自動車の使用者は、乗車定員11人以上の車両を3両以上保有する自動車の使用の本拠ごとに、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法第50条第1項、同法施行規則第31条の3)

( × )

**【選択問題】**

次の文章の( )の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×15=15点

(1) 旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則第二十六条の二に規定する事故の記録、同運輸規則第三十八条第一項及び第三項の規定による(ア)の記録その他の国土交通大臣が告示で定める書類を適切に管理し、法第九十四条第一項の規定による(イ)の求め又は同条第四項の規定による(ク)を受けた場合に、速やかに提示できるようにしなければならない。(運輸規則第69条)

ア. 指導監督	イ. 報告	ウ. 巡回	エ. 教育
オ. 乗務	カ. 健康診断	キ. 通達	ク. 立入検査
ケ. 告示	コ. 適性診断	サ. 指導	シ. 命令

(2) 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が(ア)人以上の死者を生じる事故を引き起こした場合は、24時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。(事故報告規則4条)

ア. 1    イ. 2    ウ. 5

(3) 道路運送法の目的は道路運送の(ウ)の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって(カ)を増進することである。(道路運送法1条)

ア. 従事者	イ. 事業者	ウ. 利用者	エ. 円滑な地域交通
オ. 運送事業の収益	カ. 公共の福祉	キ. 顧客の満足	

(4) 旅客自動車運送事業者は、(ア)の責務を定めることその他国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(運輸規則2条の2)

ア. 経営の責任者    イ. 事業の責任者    ウ. 運行の責任者



- (5) 旅客自動車運送事業者は、天災その他の理由により輸送の安全の確保に支障が生ずるおそれがあるときは、事業用自動車の（イ）等に対する必要な指示その他輸送の安全のための措置を講じなければならない。（運輸規則20条）

ア. 旅客 イ. 乗務員 ウ. 車両

- (6) 自動車運送事業の用に供する自動車は（ア）ごとに定期点検整備をしなければならない。（道路運送車両法48条）

ア. 三ヶ月 イ. 六ヶ月 ウ. 一年

- (7) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を（ア）しなければならない。（運輸規則44条）

ア. 常に清潔に保持 イ. 可能な限り清潔に ウ. 運行のたびに清潔に

- (8) 「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」において、安全重点施策として「事業者は、安全方針に沿い、かつ、自らの安全に関する具体的な課題解決に向け、組織全体、各部門又は支社等において、輸送の安全の確保に関する（ウ）を設定し、目標を達成するため、輸送の安全を確保するために必要な具体的な取組計画を作成する。」こととしている。（運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン）

ア. 計画 イ. 取組 ウ. 目標

- (9) 事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事した場合は、当該自動車の瞬間速度、（ウ）及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を三年間保存しなければならない。（運輸規則第26条第1項）

ア. 運行回数 イ. 瞬間出力 ウ. 運行距離

- (10) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（イ）保存しなければならない。（運輸規則37条）

ア. 一年間 イ. 三年間 ウ. 五年間

- (11) 一般貸切自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに（イ）を営業所において公衆に見やすいように掲示するとともに、一部の場合を除き、当該事業者のウェブサイトへの掲載を行うものとする。（道路運送法12条、同法運輸規則第4条第2項）

ア. 就業規則 イ. 運送約款 ウ. 運行管理規程

- (12) 旅客自動車運送事業者は、( イ ) 以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けなければならない。(運輸規則 38 条)

ア. 六十歳    イ. 六十五歳    ウ. 七十歳

**【筆記問題】**

**1 点 × 3 = 3 点**

- (1) 一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項として、法令で規定されている事項を 1 つ正確に記入しなさい。(道路運送法第 11 条、施行規則第 12 条)

答. 運賃及び料金の収受、一般旅客自動車運送事業者の責任、事業の種別、運賃及び料金の収受又は払い戻しに関する事項、運送の引受けに関する事項、運送責任の始期及び終期、免責に関する事項、損害賠償に関する事項、その他運送約款の内容として必要な事項

- (2) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は 13 時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は ( ) とする。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第 5 条第 1 項)

答. 15 時間

- (3) 次の文章の ( ) の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、乗務員等が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員等の ( ) についての規律を定めなければならない。(運輸規則第 41 条)

答. 服務